

山弓連

平成16年
12月発行

第45回関東地域弓道選抜選手権大会

快挙 優秀地連賞！！

総的中数 60射44中

山弓連はじまって以来！！

実力迫中の関東選抜大会

11月28日○小瀬武道館弓道場○参加者100名。

主管地連名誉会長中沢利正範士の厳粛な矢渡しに続き、
射者の部と有段者の部が二射場に別れ、同時進行で競技が行われた。射候は一手三回計6射で、5位までを入賞とした。最初の一手を採点対象とし、各種別4中以上で最高得点者に射技優秀賞を、また、各種別の1位に全弓連特別賞、同じく2位から5位までに全弓連賞、両種別総合的中数1位の地連に優秀地連賞を与えるものとした。

風もなく快晴の穏やかな一日、弓道競技には注文したような絶好の日和に恵まれて、熱の籠もった競技が展開した。称号者の部で3名が皆中し、有段者では4名が皆中した。いずれの部でも決勝は4射までは36センチ的を用い、5射目から24センチ的を使用した。称号者の部では5射目に決着が着き、有段者の部では24センチ的の3回目に優勝が決まるという実力迫中の緊迫した射詰が展開し会場は大いに盛り上がった。

大会賞▽有段者の部①佐々木豊(神奈川)6中②成瀬麻(神奈川)6中③和島有希(東京第二)6中④藤原真(東京第三)6中⑤頼政秀幸(東京第三)5中▽称号者の部①景山敏久(東京第一)6中②黒田輝彦(埼玉)6中

③白須吉人(山梨)6中④櫻井健三(山梨)5中⑤佐野辰巳(山梨)5中

射技優秀賞▽有段者の部①村上広子(埼玉)4中▽称号者の部①黒田輝彦(埼玉)6中☆全弓連特別賞▽有段者の部①佐々木豊(神奈川)▽称号者の部①景山敏久(東京第一)

全弓連賞▽有段者の部②成瀬麻子(神奈川)③和島有希(東京第二)④藤原真(東京第三)⑤頼政秀幸(東京第三)▽称号者の部②黒田輝彦(埼玉)③白須吉人(山梨)④櫻井健三(山梨)⑤佐野辰巳(山梨)

☆優秀地連賞①山梨〔総的中数 60射44中〕

審査報告 審査部部长 佐野辰巳

平成16年11月7日及び14日に行はれ333名が受審された。

合計の合格者は231名でした、今年始めて平成生まれの人達が受審されました。査定で全般的に射形が良く、2級者は出なかった、指導者の努力が見られました。3、4段を受審した人達には射品射格にもう少しの修練がほしいです。

	7日の合格者	14日の合格者	合計
1級	37名	82名	119名
初段	15名	57名	72名
二段	4名	25名	29名
三段	3名	5名	8名
四段	1名	2名	3名
計			231名

第19回県女子弓道大会

平成16年9月26日・午前9時～午後3時

小瀬武道館弓道場参加者 高校生76名 一般21名計97名
秋山照美女子部長による矢渡し後、特別演武として練立持的射礼及び称号者による立射礼も行われた、日頃目にすることのない高校生にとって、とても勉強になったと感想を頂いた。

- 一般 1位 中村文子(東八代)5中(競射)
- (6射) 2位 白須真知子(富士吉田)5中
- 3位 古屋直子(山梨)4中
- 高校 1位 北杜A(伊藤、向井、古屋)14中
- (18射) 2位 葺崎A(内藤、長谷部、桜井)10中
- 3位 甲府南B(角田、佐野、出澤)9中
- 高校個人 1位 鶴田真理(日川)5中(競射)
- (6射) 2位 古屋苑子(北杜)5中(競射)
- 3位 伊藤美樹(北杜)5中(競射)

(女子部事務局 雨宮千代子)

第8回板額杯争奪弓道大会

平成16年10月3日(日) 雨

境板額杯も今年で8回目をかぞえ、名称はお馴染みになっていただいたと思いますが、その由来について記させていただきます
境川村には、板額坂、板額塚、帯石など今も親しまれている地名が残っています。この地名に関する人物が、歴史に残る三御前の一人として知られる板額御前です。板額御前は、平安時代の末頃、越後の国中条町の、越後平氏、城家四代目、城資国の姫として生まれました。板額が育った頃、政治は天皇家から平氏に移り、平清盛が力を振るっていました。反発する天皇家の以仁王が平氏を討つよう諸国の源氏に呼びかけ

ました。これに答えて、伊豆に流されていた源氏の指導者、源頼朝が挙兵しました。次いで信濃源氏木曾義仲も続きました。この後、源平の激しい戦いが続き、この間に父、兄を亡くした板額は、女性ながら兄の子、小太郎資盛をたすけ、鳥坂城を切り盛りしていました。歴史が示す通り平氏は滅びましたが、源氏の攻撃を鳥坂城でむかえた城軍は、山の上から矢と岩石を浴びせ、源氏に抵抗しました。その戦いにおいて、板額の弓は百発百中で、源氏勢を苦しめましたが、多勢に無勢、板額は、囚われの身となりました。しかしこの戦いで板額の名は天下にとどろく事になりました。その後縁あって甲斐の国、豊富村の、甲斐源氏で弓の名手、浅利与一に嫁いできました。そして、板額の産んだ子が境川村石橋の、石橋信継に嫁ぎ、板額御前も後半生を境川ですごしました。このように境川村にゆかりの板額御前の縁で、平成8年に境川村と中条町は、友好姉妹町村の盟約を結び、これを記念して平成9年10月5日に、第1回板額杯争奪弓道大会を開催しました。その後現在にいたるまでに、県内多数の弓友との親睦を深めることが出来ました。

当日の試合の様子は、生憎の雨天にもかかわらず、県内各地から多数弓友の参加をいただき、盛況の内に大会を終ることが出来ました。悪天候だった為、大会中不行き届きで、ご不便をお掛けしたかと思いますがお詫び申し上げます。午前坐射、午後立射、計8射と、0~4中までの各同中者による競射を行いました。成績は以下の通りです。

1位2位は同中競射 射詰

優 勝	6中	小笠原八東	×○○
準優勝	6中	青山 和登	×○×
3 位	5中	池上 知宏	
4 位	5中	中山 和彦	
5 位	5中	小山田治雄	
3~5位は5中者7名による遠近競射			

第51回ぶどう祭り県下弓道大会

平成16年10月11日(体育の日) 晴れ時々曇り

参加チーム 20チーム 126名

大会開催の趣旨として、ぶどう祭りは秋の収穫を感謝しての祝祭です、今年は51回になります。県下弓道大会はぶどう祭りの協賛として開催されます、県下弓友大勢の皆様との親睦をはかりながら勝沼の「良さ」を知ってもらおうことです。優勝・白須吉人⑧2位・坂牧雅大⑦3位・幡野征司④4位・山下達美⑥5位・渡辺司⑥

勝沼と言えはぶどう、そんなことで毎回賞品はぶどう盆栽とぶどうを出しております、盆栽は1位~5位まで10位、15位、20位と記念賞を出します、選手の皆さんがこの盆栽手にした時の笑顔が私達部員に又次回も良い盆栽を作って出したい、そんな気持ちを持って大会を終わりました。

第11回石和町清流杯争奪弓道大会

16年11月3日(水) 晴れ

参加チーム・25チーム・80人

石和町は10月12日に笛吹市となりましたが、来年からこの大会は継続していきたいと思っております。

大会の矢渡しは、85歳の古屋達男教士6段が射手で行いました。介添えは小田切勝部長と古屋二三男副部長が行いました。すべての結果は以下の通りで、優勝者・団体にはカップが贈られ、3位までは表彰状が贈られました。

同中者同士の競射も行われ、入賞者と同じように賞品が送られました。すべての賞品は、石和町特産の「富有柿」でありました。毎年、富有柿賞品と昼食時の豚汁が好評です。

近的個人の優勝決定戦は5人(9中)で行われ、大月市の幡野征司さんが優勝しました。

遠的個人は南アルプス市の河西伊三男さんが優勝しました。

団体優勝	石和町B	(坂牧雅夫 水上梨紗 矢野宏幸)
2位	南アルプス市	(深沢勇 大野陽子 河西伊三男)
3位	富士吉田B	(曾根豊 齋藤勝利 白須吉人)

近的個人戦 的中数

優勝	幡野征司	9	大月市
2位	白須吉人	9	富士吉田市
3位	雨宮正裕	9	勝沼町
4位	大野陽子	9	南アルプス
5位	坂牧雅夫	9	石和町

遠的個人戦 (12射)

優勝	河西伊三男	68点	南アルプス
2位	矢野宏幸	65点	石和町
3位	深沢勇	58点	南アルプス
4位	曾根豊	58点	富士吉田市
5位	上田雅也	47点	六郷町

第2回東八地区スポーツ少年団弓道大会

山梨県内にはスポーツ少年団として練習しているところは多くありません。こんな大会もやっているということで、ニュースにのせてもらえれば、とても嬉しいことです。御坂と豊富にスポ少ができたので、昨年から大会としてはじめました。

12月4日(土) 17時~19時石和町清流館弓道場

参加者:小学生と中学生で42人、指導者12人。立射で8射。小学生の部優勝 佐藤開・2中 2位 菊島悟 3位 萩原瑠菜・・・御坂スポ少 中学生男子の部 優勝 宮川真一(豊富・3中) 2位 米山聡平(豊富) 3位 佐野将太(石和) 中学生女子の部 優勝 樽見ゆかり(石和・4中) 2位 中楯早紀(石和) 3位 根津里見(御坂) 峡東教育事務所を通じて、山梨県スポーツ少年団本部長よりの賞状ももらいました。(石和町 古屋二三男)